

教育研究者総覧

氏 名	西井 靖博(Nishii Yasuhiro)
所 属	生物応用化学科
職 名	准教授
学 位	博士(工学)名古屋大学
専門分野	化学工学、分離工学
クラブ顧問	バレーボール(男子)、ESS
E-mail	nishii@chem.niihama-nct.ac.jp

学 歴	1997.3 名古屋大学大学院工学研究科分子化学工学専攻博士前期課程修了
職 歴	1999.4 新居浜高専生物応用化学科(助手) 2006.4 新居浜高専生物応用化学科(講師) 2010.4 新居浜高専生物応用化学科(准教授) 2014.5 Visiting scholar at University of Iowa

校務分掌・担任歴	2009.4 ～2010.3 生物応用化学科 4年担任 2009.4 ～2011.3 ものづくり教育支援センター副センター長 2011.4 ～2014.3 教務主事補 2012.10 ～2014.3 男女参画推進室員 2015.4 ～2016.3 生物応用化学科 3年担任 2015.4 ～2016.3 ものづくり教育支援センター副センター長 2016.4 ～2017.3 生物応用化学科 4年担任 2017.4 ～2018.3 生物応用化学科 5年担任 2018.4 ～2019.3 イベントWG、Eデザインセンター副センター長、学生相談室員 2019.4 ～ 生物応用化学科 2年担任、Eデザインセンター副センター長
講義科目	本科:化学工学3, プレゼンテーション技法, 工業英語 専攻科:化学工学概論

所属学会	化学工学会、分離技術会、日本工学教育協会
現在の研究テーマ	1)逆ミセルを用いたタンパク質の抽出及び分離装置の開発 2)パルス薬剤放散システムの開発
相談可能なテーマ	・逆ミセルで形成することが出来るナノオーダーの微小空間を利用した技術 ・機能性高分子膜の開発 ・小中学校での教材開発、出前授業

研究業績	・マイクロチャネルを用いたタンパク質の逆ミセル抽出, 新居浜工業高等専門学校紀要, 第54巻, pp.47-51 (2018.1) ・パルスを持つ薬剤放散システム構築のための機能膜の作製, 新居浜工業高等専門学校紀要, 第53巻, pp.19-25 (2017.1) ・Improvement of Lysozyme Recovery Method from Precipitate of Protein-Anionic Surfactant Complexes, Separation Science and Technology, Vol.52, No.18, pp.2918-2925 (2017.11) ・Glucose-Powered Pulsatile Release, Chemical Engineering Research and Design, 106 (2016), 298-307 ・Gandhi S, Gosse MD, Nishii Y, Nuxoll E. Barrier-Mediated Pulsatile Release. Journal of Membrane Science. 495(2015) 351-360.
研究プロジェクト, 外部資金等	・「地域連携教育としての新しい体験型教育に関する研究」科学研究費補助金基盤研究(C), 研究代表者(2013～2015) ・平成28年度企業技術者等活用経費事業「企業と連携した実験能力の実質化と評価実践」への参画(2016～) ・高専4.0イニシアティブ「社会実装教育を基盤とする地域の次世代型技術者(人材)の育成」ESD対応学生主体型出前授業部門プロジェクトリーダー(2017.4～)
社会貢献, 地域貢献	・小中学校、地域イベントおよび公民館などへの学生主体型出前授業年間20件 ・生涯学習大学・新居浜高専市民講座「せっけんのお話」2009.9 ・ジュニアえひめ新聞「ピント！ラボ 見えない力」2013.9.8掲載 ・四国電力電力アドバイザー(2013.4～2014.3、2016.4) ・新居浜市教育委員会ESD推進事業協議会コンソーシアム新居浜高専代表(2018.4～)
学外審議会, 委員等	・高専機構海外インターンシップ運営業務(2010.4～2012.3) ・高専機構教育連携推進メンバー(2012.4～2014.3) ・四国電力電力アドバイザー(2013.4～2014.3、2016.4～) ・高専機構教育研究調査室併任(2016.4～2018.3)
国際交流	・ロータリークラブ 王権GSEにてアメリカミシガンへ留学(2005.4～5) ・高専機構海外インターンシップ引率(常石造船カンパニー、フィリピン)(2008.3.8～28) ・高専機構海外インターンシップ運営業務(インドネシア、フィリピン、マレーシア)(2010.4～2012.3の春季) ・アメリカアイオワ大学にて在外研究(2014.5～2015.2) ・台湾国立聯合大学短期留学生1名受入(2017.6-7) ・台湾短期留学生引率(聯合大学、文藻外語大学)(2018.9)